

## 第 127 回セミナーの質問の回答や感想

日 時 \* 平成 25 年 9 月 19 日 (木) 18:45~20:15

場 所 \* 大村市民会館 3階 大会議室

内 容 \* 司会 \* 市瀬利子氏

『 看取りへの取り組み 』

グループホームから あんのん

介護老人福祉施設から 箕望荘

介護老人保健施設から うぐいすの丘

居宅介護支援事業所から 大村市医師会

参加人数 \* 155名

当日入会 \* 49名(新規 27名)

- \* ① 湯灌にかかる時間は、どれ位ですか？ 又、それを行なうことによって料金は発生するのですか？

【回答・箕望荘】 湯灌の時間は準備に10分、入浴30分、着替えと整容20分、合わせて約1時間程度かかります。湯灌にかかる料金は発生しません。

- ② 見送る場合(施設)、他の療養者や入居者には亡くなった事をふせるような状況にしますか？ (それぞれの居室に入ってもらうなど・・・) 皆さんで見送るようなことは、ないのですか？

【回答・あんのん】 お見送りする時に、他の入居者さまが起きている時間帯であれば、説明をして皆で見送ります。「きつかったね」「よくがんばったね」と声をかけ、涙される方もあります。

【回答・箕望荘】 特に他の入居者にはお知らせしてはいません。個人的に尋ねられたらお答えしています。見送りは職員で行っています。

【回答・うぐいすの丘】 特に他の入居者にはお知らせしてはいません。個人的に尋ねられたらお答えしています。見送りは、その時にいる職員(医師・看介護・OT・PT・SW・CM・事務員等)で行うので、時間帯によっては、見送りの数の多少があります。花を一輪添えるようにしています。

- \* 家族が高齢で判断できずに「任せます。」としか言われない。何度話し合っても結論が出ません。どのような方向性が妥当でしょうか？

【回答・あんのん】 入居契約時から、最期をどこで迎えるかについての選択肢や、グループホームで迎える場合のご家族へ担っていただく事や流れを話します。また、家族会や個別のケアプラン説明時にも話し、いよいよの時に、どちらもあわてないようにしています。

【回答・箕望荘】 質問の状況(「任せます。’)の状況がうまく理解できないので、回答は差し控えさせていただきます。

【回答・うぐいすの丘】

「任せます。」は、どの様な状況なのかわかりませんので、このようにすればという回答

はご提示できません。私たちは、「自己決定」の認識の薄い国民だと思うので、なかなか難しいことです。入所の段階から、また状態状況の変化に応じて、説明と同意を繰り返して対応していくようにしております

**【回答・医師会】** 老々介護、認々介護があたりまえになってきた時代で、このようなケースが増えていることはいつも実感しています。私達の仕事というのは、このような方々が相手であるというのを、理解しておかなければいけないと思っています。「任せます。」は、どの様な状況での発言かわかりませんが、実際に動かしてみても、その時の状況で判断し、次の支援策を考えてもいいのではないのでしょうか。いくら言葉で説明しても、イメージがわかかなければ判断しづらかったりしますし・・・もし御家族が近くに居られなければ、何とか連絡をとり事情を説明して、理解が得られる様にしておいた方がいいと思います。(行き違いがないとも限りませんので)

- \* 湯灌をしている箕望荘さん 夜間に施設長や各所属長等来られるとの事でしたが、どのくらいの頻度で亡くなる方がいらっしゃるのか、頻度が多かったら、たいへんだと思うのですが・・・

**【回答・箕望荘】** 一概には言えませんが、多い月で3～4名の見送りをすることがあります。施設長や各所属長の見送りは開設当初から行っています。

- \* 湯灌は移動式でしょうか？亡くなられた方だけが特別に使われるかと思いますが、以前、ふだんつかっている個浴を使用して、特別にその方に入浴してもらったというお話を聞いたことがありました。専用で、備え付けでしょうか？入浴の様子を見て、不快に思われている方もいたようなので。

**【回答・箕望荘】** 湯灌に使用する湯船は簡易移動式タイプ(以前、訪問入浴で使用されていたもの)を使用しています。通常入浴に使用している湯船は使いません。

- \* 亡くなる前(3日)に呼吸苦があり、「オレは死ぬとな？死にたくない。」と言われました。点滴と酸素吸入施行し、呼吸困難と意識がある人に、どのように対応したらよいのか悩みました。亡くなる2日前より意識もうろうとなられました。この方は、100才の女性でした。

**【回答・うぐいすの丘】**

「死」を前にすると、現在を基点に未来と過去の方に、不安・恐れや終われない思いなどが起こるようです。

①今の苦痛に加えて、これからの未来にもっと強い苦痛になるのではないかという不安・恐怖。

②「死」という未知の世界への不安・恐怖。

③不老不死の願望。

④今までの人生での思い残しによる「今終れない」という思いなどです。

まずは、今現在の身体的・精神的苦痛を取り除くことですが、点滴・酸素吸入・鎮痛剤投与だけで収まるものばかりでなく、日常生活の延長上として、普段どおりの生活を支援することや言葉のかけ方一つでも、苦痛を減じることには大事なように思えます。

次に、そこまで関わる必要があるのか・関われるのかなどの議論があるでしょうが、「死

にたくない」「今終れない」というような、「死」の間際の何か思い残しがないようにしていく必要があります。具体的には、お元気なうちにやりたい事をやっておく、会いたい人に会っておくというようなことを、日々の支援に取り込み、さらにターミナル期と判断されても、医師が診察し、体調が安定している時に、1時間でも家に帰っておく(多くの場合、職員が付き添う)と、ご本人は落ち着かれ、ご家族も「あの時、家に連れて帰っていたから」と後悔されることが少ないようです。

そして、最期を迎える時に、思い残すことなく、さらに死に目に会うということも大事のようです。ご家族や関わりのある方たちに囲まれて、昔話や楽しかったことなどを話して、満足な関わりを持たれた方は、呼吸が落ち着き静かに息を引き取り、穏やかなお顔をしているような気がします。

いずれにしても、ご家族や職員の満足度は図れても、ご本人の評価は得ることができません。入所の段階から、状態に応じて意向確認をしていくことはもちろんですが、ご本人には、お元気なうちから、尊厳死の意思表示やエンディングノート・人生ノートなどを使って、ご自身の生き方を考えることや、ご本人の意向を家族と話せる雰囲気を作っていく必要があると思います。正しい答えはわかりません。「死・ターミナルケア」は、皆の課題として取り組み、試行錯誤を重ねることだと考えています。

**【回答・医師会】** 「息が詰まるのではないか」という恐怖感や不安感から出てくる言葉なのではないかと思います。その様な、つらく苦しい思いに対しては、言葉をそのまま受け止め、「苦しいね・・・、辛いね・・・」と言葉をかけ、その方に手を添えるなどして「近くに居るよ。一緒に居るよ・・・」という安心感を相手に感じてもらう事が、大切なのではないのでしょうか？相手の呼吸に合わせて背中を擦る事も、気持ちを落ちつかせる方法としていいように思います。

- \* 他施設の看取りのケアについて聞くことが出来て、すごく為になりました。多職種協働のチームで行うことなので、事務職ですが、家族さんの今おかれている現状や気持ちに寄り添った声かけや対応ができたらと思いました。看取りのケアがあることを、もっと一般の色々な方に知ってもらえると、あらかじめ考えることができているのかな、とも思いました。ありがとうございました。
- \* 各施設での看取りへの取り組みの実際を知る機会になり、良かった。日頃のケアの延長線上に看取りケアはあるといった表現が、とても心に残りました。日頃の業務でご家族、ご本人と関わる時間を大切に、仕事に勤めていきたいと思いました。
- \* 4施設の方、発表お疲れ様でした。参考になるお話し、有難うございました。グループホーム、特養等、それぞれの看取りについての対応、最期の時、いかに向き合うか。日常のケアの在り方について、振り返る良い機会になりました。
- \* 在宅での看取りとして、「家に帰りたい」という本人様(利用者様)がいらっしゃるの、最後の看取りをどのように希望されているのかを、看護として家人の家に帰りがたっていたことをこちらから提供していけるように、関わりをもっていきたいと思った。
- \* 看取りという事を、改めて考えられて良かった。箕望荘の“湯かん”はすごいと思った。看取りの人数も充実していた。以前亡くなった方で、湯かんをした方がとてもきれいで、

私も家族もそうしてもらえてらと思ってた。施設にしてもらえるのは、とてもいいなあと思った。

- \* 初めて看取りした日、涙が出たことを覚えています、それから12年、なれになってきた様に思います。時間をかけ、おごそかに、見送って行きたいと感じました。勉強になりました。ありがとうございます。DVDを観られたこと、参考になりました。
- \* ターミナル期になると医療的な事が多く、看護任せにしていたのですが、今日、マニュアル作成、アンケートの実施、DVDの作成を通じて、ターミナルとは特別なことではなく、生の延長線上であり、日頃のケアが改めて大切だと感じました。
- \* 看取りをテーマに取り上げてもらい、ありがとうございました。病院以外の場で死をむかえることに対する、本人、家族の思い、施設等の取り組み、職員の思い等、色々考えさせられる内容でした。今後、在宅や施設で終末期を迎えるケースが増加していくことが予想される中、どのような対応がなされているかを知ることができて、良かったです。ターミナルケアをテーマとしたセミナーを、今後も開催していただけると幸いです。
- \* どの施設、事業所であっても、看取りは一大事であると思い、その施設、事業所が全体で取り組まなくてはならないと感じた。その方の最期に関わる人間が、緊張と尊さを持ちながらも、「死」を人生の一部としてとらえ、その人らしい最期になるよう支えていきたいと思った。
- \* 箕望荘さんの湯灌の取り組みは、とても良いと思いました。ご本人さんも気持ちよく、ご家族の心のケアにもつながるのではないかと思います。
- \* 看取りの現場の貴重なお話しが聞けて、いい経験となりました。生々しい感情やかつとうが、正直に語られていたと思います。
- \* 家族の思いをくみとることはもちろんだが、本人がどう思っているか、くみとっていくことも重要と思いました。日々の関わりの中で、考えていきたいと思います。
- \* 看取りといっても、その時にだけこだわることなく、日頃からの本人・家族との関わりを大切にして、その方の「今」を大切にしていけることが、良い看取りにつながるのではないかと感じた。
- \* ターミナルケアの各事業所の特色があり、勉強になりました。DVDは、わかりやすく良かったです。日頃のケアが大切ですね。
- \* 湯灌やDVD、親を送る覚悟を持っていなければと思いました。4施設の方、ありがとうございました。
- \* 今日は、学びの深いセミナーでした。死は、特別なものではないということに対し、死生観について今後も考えていかないといけないと思いました。ありがとうございました。
- \* 特に介護士は、看取りをすることでのストレスは大変なものと思う。施設で看取りを行う際には、職員の心のケアにも、十分配慮してほしい。
- \* DVD作成など、斬新な取り組みを紹介いただき、ありがとうございました。
- \* DVDは、詳しくわかりやすかったです。
- \* ターミナルケアの現場の様子がわかりやすく解説され、とても良かった。
- \* 看取りについて、分かりやすく、とても深いセミナーでした。
- \* 看取りの仕方のテーマは、良かった。その後のグループケアについての追跡調査はで

きないかと思った。

- \* ありがとうございます。内容は少し難しかったですが、興味を持つきっかけになりました。
- \* 毎回、多くの方々が参加されて学ばれていることに敬意をしています。日頃の活動がよく分かりました。場所も広くなって、安心して参加しています。ありがとうございます。
- \* 今回、初めてセミナーに参加させていただきました。今後、いろいろな勉強をさせてもらいたいと思いました。